

2021年1月24日(日) メッセージアウトライン「真実なる神こそわが希望」

聖書箇所：創世記15：1～6

タイトル：「真実なる神こそわが希望」

テーマ：主なる神の御声を聞いてハランの地から神の示された土地に向かって出発したアブラハムの歩みは、謂わば神の約束以外には、何もあてにするものないスタートだった。

時には疑い、時には失敗し、失望し、一方で、何度も同じ約束をくり返し語りかけて導いてくださる神。アブラハムはなされた神の約束のすべてが成就されるのをその生涯の間に見たわけではない。彼は何を信じたのか？ 彼は「神は真実なお方であり、約束されたことを必ず成就してくださるお方」だと信じたのである。アブラハムの希望は、「神が真実なお方である」という一事にかかっている。

アブラハムの時代から今日に至るまでどれだけの歳月が流れたことだろう。(およそ4千年ほど) 今を生きるクリスチャンはどこに希望を見い出せばよいのだろう。本日の聖書箇所とアブラハムの生涯をとおして考えてみよう。

## 1. 神との出会い、召し出されたアブラハム（神の約束）

①神は何度もアブラハムに現れて、彼に後のアブラハム契約と呼ばれる祝福の約束をされた（5回）

\*一度目（創12：1～3）

「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者を呪う。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」

\*二度目（創13：14～17）ロトがアブラハムの許を去った後に

\*三度目（創15：1～6）本日の聖書箇所

\*四度目（創17章）アブラムからアブラハムへ、神の命令で割礼を受けた

\*五度目（創22章）試練にあうアブラハム（イサクを捧げよとの命令）

## 2. 失望しかけた時に（15：1～6）

①15：3 アブラハムは神に不平を言った

人間考えた代替案を示して、自分を納得させようとした

②再び神のことば（15：5）

「さあ、天を見上げなさい。星を数えられるなら数えなさい。あなたの子孫はこのようになる。」アブラハムはこれを信じ、神は彼を義と認められた

### 3. 約束の成就と試練

- ①なかなか子が与えられないので、サラは夫に女奴隷ハガルを与え、イシュマエルという男の子を得た。(アブラハム86歳)
- ②ついに約束の子イサクを得た(アブラハム100歳)
- ③神からの試練(イサクを全焼の生贄として捧げよとの命令)  
直ちにこの命令に従ったアブラハム。神は彼の信仰を喜ばれ、彼に対する約束を再確認。「確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたの子孫を空の星、海辺の砂のように大いに増やす。あなたの子孫は敵の門を勝ち取る。あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。あなたが、わたしの声に聴き従ったからである。」  
この約束のとおり、アブラハムの子孫としてお生まれになったイエス・キリストは、十字架の贖いと復活をとおして、信じる者に驚くべき祝福をもたらされたのだ
- ④アブラハムへの約束は、約2千年以上の時を経てイエス・キリストによって成就し、また、それから2千年以上の歳月を経て、福音は私たちにも届けられ、私たちはこの恵みを受けた。神の約束の成就を見るためには信仰と忍耐が必要

### 4. 結論

- ①私たちにも真実であり続けてくださる神
- ②希望を失いかけた日々、私たちに与えられた使命
- ③愛に裏付けられた神のご真実こそわが希望